

令和6(2024)年度 中堅教諭等資質向上研修(道徳:下都賀地区)を開催しました

令和6(2024)年8月5日(月)実施
下都賀教育事務所 学校支援課

1 研修の目的・内容

(1) 目的

「心の教育」の推進における道徳教育の重要性を認識し、道徳科の指導案の作成を通して、道徳科の特質を理解するとともに、ねらいに迫る授業づくりに資する。

(2) 会場

小山市立文化センター小ホール、中央公民館第1研修室

(3) 内容

○ 主催者挨拶 下都賀教育事務所長



- 趣旨説明及び事務連絡 下都賀教育事務所 学校支援課 担当
- 班別研修 指導案作成
 - ・ねらいとする道徳的価値の確認
 - ・ねらいの設定
 - ・中心発問及びその前後の発問の設定



2 本研修で確認したこと

【本研修の趣旨等について】

- 道徳教育は、日常的な生活場面を含むあらゆる教育活動の中で、道徳的行為が身に付くように道徳的価値を意識させながら繰り返し指導することが大切である。
- 道徳科の目標には、道徳性を養うために必要な学習の過程が明示されている。
道徳的諸価値についての理解を基に

「自己を見つめ」
「物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え」
「自己(人間として)の生き方についての考えを深める」



道徳的判断力、心情、実践意欲、態度という四つの内面的資質を育てる。

- 道徳科の授業をより充実させるには、「ねらいに迫る」ことが重要である。
→「児童生徒にどのような心を育てるのか」を明確にして授業を展開する。

【※参考】「栃木県教育振興基本計画 2025」P.19
「令和6(2024)年度版下都賀地区学校教育の重点」P.7
「栃木県道徳教育ハンドブック」P.20

3 本研修で学んだこと(参加者が記入した「研修の振り返り」から)

【授業づくりに関すること】

- ・ 児童の実態からねらいを設定する大切さを感じました。何を身に付けさせたいのか、何に気付かせたいのか、児童の姿を思い浮かべながらじっくり考えることができました。
- ・ 教師がねらいを明確にすることで、先を見通すことができ、児童に適した発問ができると思いました。児童の考えを広げるためにもねらいの設定をこれからも大切にしたいと感じました。
- ・ ねらいの立て方や、授業の考え方を学ぶことができました。人間理解、他者理解、価値理解の視点をどう取り入れていくかを、今後の授業で工夫していきたいです。
- ・ 各校の実態を聞きながら考えることで、様々な視点から検討することができました。実態により、展開が大きく変わることも体感することができました。
- ・ 発問を考える上では、児童の反応を予想しておくことが大切であるとともに、問い返しも考えておかないといけないなと思いました。また、発問の仕方や言葉の選び方によって、考えさせたい内容が変わってしまうので、注意していきたいと思いました。
- ・ ねらいは、判断力なのか、心情なのか、態度にするのかで大きく変わることを具体的に教えていただき、研修前よりもより明確にイメージすることができました。
- ・ 内容項目を細かく分析したことで、ねらいを設定する際に自分の中で価値がぶれないように意識しながら考えることができました。
- ・ 学習指導要領をもとに、授業を組み立てていく重要性和、ゴールから逆算して考えていくことで、補助発問の生かし方が見えてくる点について、通常の授業でも取り入れていきたいです。

【班別研修に関すること】

- ・ 一つの教材を通して、先生方と意見を交換しながら教材研究をすることのすばらしさを感じることができました。研究授業は、先生方のアイデアを織り込みながら授業展開を考えていきたいと思います。
- ・ 道徳について他校の先生方や指導主事の先生と一緒に同じ教材で一から考える経験はあまりないので、とても勉強になり、また話合いが楽しかったです。
- ・ 新しい視点に出会えたこと、充実した議論ができたので、班の先生方や指導主事の先生に感謝です。持ち帰った内容をもう一度自分で考え、指導案を作り、良い授業を行いたいです。
- ・ 他の先生方の意見を聞くと、新たな発見があって一つの教材でも様々な見方ができるのだなど、まさに多面的・多角的に考え議論することができました。
- ・ 事前に内容項目の分析をして、自分なりに教材研究をし、授業の流れや中心発問など考えてから研修を受講させていただきました。当日は、班別での話合いがありましたが、考え付かなかった授業の流れや大切な部分がわかり、新しい発見があってとても面白く学びになりました。
- ・ 勤務校では、同じ学年を担当している先生と、教材について等身大で議論する機会はなかなかありません。本研修を通して、グループの先生方からたくさんの刺激をいただきました。

【ミドルリーダーとしての役割に関すること】

- ・ 授業は一人で考えるのではなく、いろいろな先生に相談したり、普段の会話の中でなんとなく話題にしたりすることで、いろいろなアイデアが出るのではないかと思います。今後勤務校でも実践してみたいと思いました。
- ・ 他の先生方の教材研究の仕方或多角的・多面的な捉え方は良い刺激になりました。勤務校でも、同僚をもっと巻き込み、教材研究していきたいです。
- ・ 内容項目分析表は、一つの項目に一つ作成しておく、新学期の道徳の授業を行う前に見返す事ができるので、長期休み中にいくつか作成しておこうと思いました。その際に若手の先生方も巻き込みながら、複数で手分けする事で、みんなで教材研究をしたいなと思いました。

